

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議に市の担当者や地域包括の参加の依頼を行い、開催日数を増やしホームの取り組みの理解をより深め、情報や意見をサービスに活かすことが望まれる。	市や地域包括の参加を促し、運営推進会議の開催回数を6回にする。	市や地域包括への連絡を密にし、参加を促す。会議での意見や課題など、具体的な内容を詳しく記載し、見やすくわかりやすい議事録を作成し、取り組みに活かす。会議で話し合った内容を利用者家族にきちんと伝え実行することで、より多くの家族の参加を求める。	12ヶ月
2	13	災害対策のなかで、避難訓練などに消防署の立ち合いがない事を課題としている。車いすや、認知症の利用者の誘導が難しいことから、消防署による指導を活かすことが求められる。	消防署員の立ち合いを依頼し、指導・助言を得てより良い防災計画の作成、避難訓練を実施する。	避難訓練を定期的に行うことができるように年間予定に組み込み、計画的に消防署への立会いを依頼する。千葉市消防局の主催する防火管理・救命講習にも積極的に参加する。	12ヶ月
3	2	運営推進会議等の場を利用し、ホームの力を生かした地域貢献として、町内会の人たちの介護教室への参加、地域住民の訪問や見学を受け入れ、認知症の理解を深めることが望まれる。	地域住民との交流や認知症の理解を深めてもらえるように、介護教室への参加や、施設の見学などを呼び掛ける。	グループホーム連絡会に参加できるよう、スケジュールの調整を行う。町内会や民生委員など、交流のある方たちに介護教室や施設見学の実施を連絡し協力していただくことで、より多くの地域住民の参加を増やす。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。